

2日目①「女性のリーダーシップ」

2024年4月20日（土）クレオ大阪中央にて

講師：木須八重子さん

（前（公財）せんだい男女共同参画財団理事長）

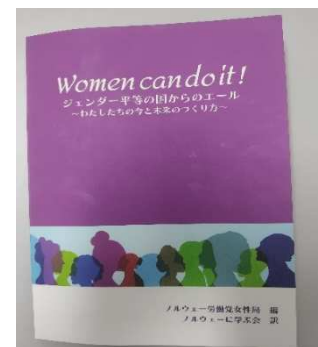
講座は、自分らしいリーダー像を明確化するために、講義に続いてアセスメントと話し合いを行いました。

講義では、防災・減災活動に女性の参画はいまや不可欠であり、日常的にできていないことが災害時に困難として現れるため、受講者は支援者と当事者の2つの側面から防災に日常的に参画する必要があることが伝えられました。そして、2015年3月国連防災世界会議「仙台防災枠組み（2015-2030）」での女性やジェンダーの視点を強調する文言が含まれることを紹介しました。女性は「変革をもたらす主体」であり、脆弱な存在でなく能力構築や包摂が表現されており、これまでの防災に関する国際的な議論の延長線上にあるものと説明がありました。



「あなたが考えるリーダーとは、どんな力を発揮している人ですか」といった個人ワークを行いました。受講者からは「心配りができる」「判断力がある」「安心感がある」といった意見がありましたが、木須さんからは「どれも重要なエッセンスであり理想像であるけれども、そんな完璧な人は現実には居ないので、自分の強みや特徴を知り、違うタイプの方と関係性を持つことが大事」との解説がありました。

次に、自分のコミュニケーションスタイルや価値観について、ワークを交えながら学びました。「わたしのコミュニケーションスタイルを知る」では、各自が20項目の質問にチェックを入れ、「コントローラー」「サポーター」「プロモーター」「アナライザー」の4つのうち、自分にどのような傾向があるのかを分類してみました。木須さんからは、4つのスタイルの特徴の説明があり、自分と違うスタイルの人と興味や関心を持ち関係性を築く際の参考となることを学びました。



「わたしの価値観を知る」では、魅力を感じる言葉や心が動かされる言葉を、チェックシートを用いて直感で選びました。行動のエネルギーとなる価値を知り、自分らしさを再認識することができました。併せて、人それぞれ価値観が違うことを受容することの重要性も学びました。

最後に、ジェンダー平等の先進国であるノルウェーでの女性の社会参画を進めるための実践的なワークショップを日本語に訳したブックレット「Women can do it!」を教材に講義を受けました。女性たちが自由に意見を表明する勇気や意思決定の場に参画する勇気をもつ実践的かつ具体的なトレーニング方法を学びました。

防災・減災活動にジェンダー平等の視点をもつリーダーとして備え、自身をもって参画できるようになる、そのために自分のステップが何かを明確にすることにつながりました。